



鎌田 幸也 議員  
(市民クラブ)

## 低温と日照不足の影響は 収量の減少と品質低下を懸念

**Q** 8月の上旬から雨や曇りの曇天、日中の最高気温も25度前後の低温の日が続く。農作物への影響が心配される。市内の農産物の生育状況と対応策、被害が発生した際の対策について伺う。

**A** 【市長】 水稲は不稔・褐変のほかに、葉いもちの発生が見られ、穂いもちへの移行が懸念される。野菜や果樹は、病害発生による収量の減少と品質低下が懸念され、大豆は着莢（ちやくきょう）数の低下が懸念されるなど、低温と日照不足による農作物への影響が生じている。市としては生産者の不安を払しょくするため、引き続き県や農協など関係機関、団体と連携を図りながら生産者へ今後の対応策の情報提供をするともに、今後の被害状況によっては支援策等の必要性や国、県への要望についても検討を進めていく。

## 災害発生時の対応は

**Q** 今夏、2回の浸水被害が発生したが、災害警戒本部、対策本部の設置や廃止の基準を伺う。また、現地本部となる各総合支所との緊密かつ迅速な情報の伝達、共有が大切と考えるが、連絡体制を伺う。



迅速な情報収集訓練に当たる災害対策本部

**A** 【市長】 警戒本部は気象洪水の発表、豪雨災害のおそれ、震度4以上の地震発生など、災害発生のおそれがあるときに設置し、対策本部は災害が発生、または発生のおそれが著しい場合に設置する。警戒本部の廃止は災害発生のおそれがなくなった時及び対策本部が設置されたとき。対策本部の廃止は災害応急対策の状況を見極めたうえで、本部長が判断する。連絡体制は、警戒本部を防災危機管理課に、対策本部は本庁舎内に設置。本庁職員と各総合支所職員が、より緊密に情報を共有して現場の状況を把握し、的確な判断と行動が取れるよう訓練をしていく。



松田 昇 議員  
(花巻クラブ)

## 格安航空会社誘致の取り組みは 県の取り組みに協力したい

**Q** 格安航空会社（LCC）の花巻空港への誘致は本市訪日外国人観光客増加にたいへん有効と考えるが、現在の誘致策を伺う。

**A** 【市長】 貸し切りバス1台当たり3万円の支援を行っており、県も着陸料の減免など、誘客のために多くの支援を行っている。花巻空港を利用する外国人観光客を誘致するためには、花巻温泉郷に宿泊する外国人観光客のみならず、県内の他市町を目的地とする外国人観光客にも同様の支援を行う必要があるとの観点から、貸し切りバスに対する支援については、花巻市が単独で行うものではなく、県が花巻市を含む県内各地を訪問する支援を行うべきと考えており、県に対し要望している。

## 花巻市人口ビジョン

**Q** 人口は社会の基本データといわれるが、本市では総人口が2000年の約10万7千人をピークに減少傾向に転じ、国の推計によると2060年には約5万2千人とされる。平成27年10月に花巻市人口ビジョンを策定しているが、将来の人口推計からみえる人口構成についての課題を伺う。



花巻空港初のLCC機タイガーエアの就航を記念し歓迎放水が行われた

**A** 【市長】 出生数が年々減少しており、男女ともに未婚率が上昇していることなどが考えられ、結婚したいと望む方々に対する婚活の支援、特定不妊治療費の助成、各種医療費助成や第3子以降保育料負担軽減、子どものためのインフルエンザ予防接種費用軽減などの経済的支援を継続していくことが必要である。一方、U・I・J・ターナー者や雇用した企業への助成、住宅取得支援策の実施など移住定住に係る施策等の効果も出てきている。今後は男女問わず、15歳から39歳までの若年層をターゲットとした転出抑制・転入促進施策の推進が必要である。

【そのほかの質問】奨学金制度について



阿部 一男 議員  
(平和環境社民クラブ)

## 地元に経済効果波及の手法は 地元企業の起用を依頼

**Q** 本年3月に市と総合花巻病院は「移転整備に関する協定」を結んだ。第6条「建設業者の選定」で「地元に経済効果が波及するような手法を検討する」とあるが具体的手法を伺う。また、第8条で市は花巻病院から毎年度、事業実績や決算状況等の報告を受けるが、市民への公開とその手法を伺う。

**A** 【市長】 総合花巻病院は病院・特定施設棟及び看護学校棟の建築工事の発注に関する「入札のお知らせ」を8月18日に公告し、地元企業を起用することについて、競争参加者から提案を受ける重要な要素の一つとしている。市は可能な限り花巻の業者の起用をお願いしている。総合花巻病院は既に平成29年3月31日現在の貸借対照表を院内に提示し、決算・予算に関し、ホームページでお知らせしていることから、市が改めて公開することは考えていない。

岩手県に処理計画を提出することになっているが、その状況を伺う。

**A** 【市長】 株式会社メノアースが所有するPCB廃棄物の処理については、国が定める処理期限により、変圧器、コンデンサーは平成34年3月末までに、安定器は平成35年3月末までに、低濃度PCB廃棄物は平成39年3月末までに処理しなければならないこととなっているが、株式会社メノアースが期限までに適切に処理を行えるか危惧している。



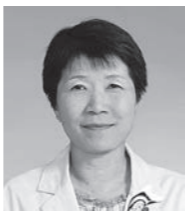
移転整備される総合花巻病院

【そのほかの質問】農林業問題について

※PCBとは、ポリ塩化ビフェニルの略称で、人工的に作られた化学物質。毒性発がん性や内臓障害が強く、現在は製造・輸入・使用が禁止されている。

## 新興跡地PCB処理は

**Q** 新興製作所跡地に保管されてる発がん性物質のPCBは、本年6月までに所有会社が法律によって



藤井 英子 議員  
(花巻クラブ)

## 災害公営住宅整備事業は 中央地区に2棟30戸を建設

**Q** 上町、仲町に建設を予定している災害公営住宅整備事業について、調査途中に水銀の検出、解体建物へのアスベスト使用も見つかっている。この事業及び建物等の概要について伺う。

**A** 【市長】 仮称・災害公営住宅の場所は花巻市上町7番地4筆及び仲町109番1他2筆に30戸の整備を行うもの。部屋は2DK23戸、3DK5戸、3LDK2戸を予定している。面積は6815.9平方メートル。建物は上町側に鉄筋コンクリート造りの4階建てで、1階に店舗、2階から4階は9戸の住宅とする。集会場は住宅の北側に木造平屋建てで入居者全員が利用できるほか、入居者同士や近隣地域住民との交流を図れる大きさを計画している。仲町側は鉄筋コンクリート造りの3階建てで21戸の住宅を整備する。用地費は旧誠山房跡地、ボウリング場跡地に隣接する駐車場跡地、旧誠山房西側の店舗兼住宅の土地は、鑑定評価額以下となり、ボウリング場跡地は水銀除去、及びアスベスト除去を含む解体費用があること等から鑑定評価額より高くなる。

## 花西地区の施設整備の考えは

**Q** いへん古く集会所に適さないところである。花西地区は公民館がなく、ため、住民が集える拠点がなく、社会体育館もない。花西振興センター整備、社会体育館建設の考えはないか伺う。

**A** 【市長】 花西地区における施設の必要性は理解しているが、新たな図書館を中央地区に整備した後の現在の図書館の活用を含めて、花西地区の公共施設を考える必要がある。新たな図書館整備の方向性が固まってからの検討になる。



老朽化が進む花西振興センター(若葉町)

【そのほかの質問】市道の整備について